

「令和7年度教育委員会の主な事業」質問回答一覧

質問内容	回答
学校侵入者に対する学校側の対応はどうなっているか。	防犯対策として、出入り口の施錠、入り口受付の指定明示、来校者の受付での確認、名札の着用を行っています。 侵入者に対しては、各校で設置してある危機管理マニュアル防犯対策に沿った対応を行っています。不審者対策訓練も学校で行っています。
大・中・小学校間の交流活動の推進の検討はしているか。	中学校とその校区にある小学校の間においては交流活動が行われています。大学との交流については、大学が設置されている区によっては、実施されていることを把握しています。
部活の地域移行に関して「基本は受益者負担」に賛同しますが、移動に関する部分は地域の交通事情に寄るもの大きいと思いますので、個人の責とするのは不公平な様に感じます。例えば、高齢者への移動サポート事業を対象拡大するなど工夫が必要ではないでしょうか。	中学生が自宅から通える範囲に、多様な活動の場が設けられることが望ましいことから、学校施設を拠点とする地域クラブの設立に努めています。 活動場所への移動については、自己負担を基本としますが、他都市の取組状況や国の有識者会議の報告を参考に、各区と状況を共有しながら検討を進めていく予定です。
中学校の給食化はとても良いですね。事務の負担が減るので公会計化もいいと思いました。これは小・中だけでなく保育園もでしょうか。	今年度からの給食費の公会計化は市立の小・中学校が対象です。市立保育園と幼稚園はもとも公会計ですが、私立保育園などは各施設の会計です。
不登校の生徒児童の保護者と教職員が何度も話し合っていると聞いています。先生方の負担を軽減させるために不登校の生徒児童の対応のための方がいるといいと思いました。とにかく中学校は先生方が大変そうです。	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどを活用し、関係機関との連携しながら、対応することで教職員の負担軽減に努めています。